



発行 甲府市農業委員会  
 住所 〒400-8585  
 山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号  
 電話 055-237-1161(内線7344)  
 055-237-5892(直通)  
 FAX 055-227-8065  
 編集 甲府市農業委員会だより  
 編集委員会

◆ KOFU CITY ◆  
 Hello Kitty

© '25 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L655824



〔農業の未来を担う、新たな力がここに！ 株式会社 InoFa で育った新規就農者たち〕

第86号

上段の左から、豊永久幸さん(甲運地区)、長塚慧冨さん(里垣地区)、水野弦太さん(甲運地区)、金子尚樹さん(甲運地区)  
 下段の左から、澤登瑠璃奈さん(里垣地区)、中嶋清香さん(韮崎市穴山地区)、小林恭子さん(甲運地区)  
 ※括弧内は営農地区

おもな内容

- 甲府市農業行政施策の提出  
 農業委員会活動報告.....2
- 甲府市への意見書に対する回答.....3
- 農政情報コーナー.....4
- ヤマトダマ実証事業について.....5
- プロファーマーの認定について.....6

## 令和7年度 甲府市農業行政施策の提出



令和6年10月1日農業委員会執行部役員6名により、農地法第38条に基づく、農業行政施策に関する意見書を、樋口雄一市長へ提出しました。

← 次ページが意見書の内容と甲府市からの回答

## 令和6年度 農業委員会活動報告

農業委員会では、毎月1回、定例総会を開催し農地に関わる各種申請や届け出による許可決定を行っています。



### 【定例総会で決定・許可された案件】(令和6年4月～令和7年3月)

耕作目的の売買・賃貸(3条許可)		38件	44,848.39㎡
市街化調整区域内の転用(4条・5条許可)		69件	65,091.08㎡
市街化区域内の転用(4条・5条届出)		123件	69,522.20㎡
利用権の設定	新規	105件	163,465.28㎡
	再設定	214件	361,909.49㎡
	解約	40件	59,909.58㎡
相続税の納税猶予		2件	13,624.00㎡

令和7年度  
甲府市への  
意見書に  
対する回答

農業委員会において、令和6年10月1日、市に提出した農業行政施策に関する意見書の回答

1. 有害鳥獣対策について

【意見書】

有害鳥獣に係る具体的な鳥獣対策を講じる際には行政と地域ぐるみで、活動できる仕組みづくりを提言する。

【市の回答】

有害鳥獣対策につきましては、「甲府市鳥獣被害防止計画」に基づき、被害状況に応じ柔軟な対応をするとともに、被害情報をもとに、被害発生地点分布地図を作成するなど、今まで以上に実態把握に取り組みしていきます。

さらに、鳥獣害防止対策集落リーダーと連携し、地域に寄り添った対策が講じられるよう、地域ぐるみの対策について、関係機関の協

力を得ながら調査研究してまいります。

なお、中道南地区土地改良事業においても、鳥獣被害の発生状況をはじめ地域の実態や意向を十分把握する中で、効果的かつ効率的な鳥獣害防止柵が整備できるよう努めてまいります。

2. 農業センターの農機具の貸出について

【意見書】

トラクターの貸出においては、農地まで運搬していただける体制を確立してもらいたい。危険を伴うトラクターの運搬については例外、あるいは、トラクターのトラック運搬を委託した際に要した費用の補助制度の構築を要望する。

【市の回答】

この貸出制度の目的については、既存の農業経営者や新規就農者の経営開始から定着に至る過程での労働力の軽減等の支援が主なものであり、農業を体現しているために支援する事業であります。本制度では、農業者の方にも一部の自己負担や責任が発生する仕組みに

なっており「機械の運搬は借りる人」にお願いすることとなっているため、何とぞご理解の程よろしくお願いいたします。

なお、最も危険な機械の積み下ろし作業につきまして、怪我や事故の無いよう、随時安全研修を実施してまいります。

3. 地域農業の多様な担い手の育成の充実について

【意見書】

①「プロファーマー」認定者による、営農のノウハウや体験などを踏まえた意見交換会ができるような「セミナー」の実施。

②農作物の栽培技術の習得をはじめ、ブドウ棚の設置や修復、用排水路等の補修など、土木技術が習得できる研修の開催。

【市の回答】

①セミナーや意見交換会の実施につきましては、プロファーマーの皆様のご協力を得る中で、体験が本市農業経営者の一助となるべく、セミナーの開催について検討してまいります。

②ブドウ棚の設置や用排水路の補修など、農業用施設に係る土木技術の習得につきましては、関係機関と協議し、対応を検討してまいります。

4. 公図が無い地域における公図の作成について

【意見書】

市内において公図が無い地域において、農地を借りたいと考えている新規就農者などの方は、農地の売買や貸借の権利移動等の設定ができないため、農業委員会の諸活動に支障をきたしている。

【市の回答】

これらの地域の持続可能な産地の形成を図るため早期に地図が備え付けられるよう、各関係機関等と協議して地図を作成することを提言する。

【市の回答】

公図が無い地域の解消につきましては、利害関係者の合意と併せ、これまでの経緯や抱える課題等を整理し、実施可能性について関係機関と調査研究してまいります。

5. 取水堰の整備について

【意見書】

山城地域の農地に用水を引くためには、平等川から増坪堰に人力により堰板を入れ、取水しているが、この際農家が命綱を頼りに川に入り、足場も悪く非常に危険な状態にある。

【市の回答】

については、河川の水位調整できる可動堰の設置など、安全な取水作業ができる対策を提言する。

【市の回答】

取水作業や水位調整が容易にできる堰の整備につきましては、これまでの経緯も踏まえ、県や地元水利組合と協議しながら、より効果的に作業従事者の安全が確保できる対策を検討してまいりますので、引き続き、地域との連携による適切な維持管理にご理解とご協力をお願いいたします。



# 農政情報コーナー

## 就農支援課からのお知らせ

☎(241)5616

## 農作業の事故防止について

農作業中の事故が増加しております。

特に、農作業用機械による事故は、死亡に繋がるケースもあるため、農作業の前に、必ず安全チェックを励行し、作業中は、「焦らず、急がず、慎重に」を心がけましょう。

## 農業用機械の貸出について

市内の農地を耕作する方に対し、農業用機械の貸出を有料で行っています。主な種類については左記のとおりです。

耕耘機・トラクター、乗用管理機、管理機  
除草機・刈払機、乗用モア、ハンマーナイフモア  
その他・乗用田植機、バインダー、ハーベスター、ワラカッター、自走チツ

パ、動力噴霧器（消毒用）、肥料散布機、マルチ張り機など

なお、事前予約が必要となりますので、就農支援課までお問合せください。

## 農政課からのお知らせ

☎(298)4833

## 第50回 甲府市農林業まつり

地産地消に対する理解を深め、本市農林業の振興を図るため、第50回甲府市農林業まつりを開催します。

- 旬の野菜、特用林産物、花・緑花木の販売
- 中道・上九一色の特産品、甲州地どり、甲州信玄豚、静岡県牧之原の海産物の販売
- イベントコーナー「はたらく車展示コーナー」
- 体験コーナー「木工細工」
- 相談ブース「半農半×相談」、「栽培管理技術相談」、「健康相談」ほか

## 日時

10月25日(土)

午前9時～午後4時

## 会場

小瀬スポーツ公園

※「第35回甲府大好きまつり」、「第4回こうふ女性達で創るマルシェ」と同時開催となります。



## 農業委員会事務局からのお知らせ

☎(237)5892

## 農業者年金に加入しませんか？

支払った保険料が全額

控除の対象になり、受給は一生涯です。

加入には、次の3つの条件をすべて満たす方です。

- ①国民年金第1号被保険者（ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者）の方
- ②年間60日以上農業に従事している方
- ③65歳未満の方

詳細はお近くのJA窓口または農業委員会事務局へ。

## 農地利用状況調査を実施します

9月1日から市内の全農地を対象に現地調査を行います。

各地域の調査員による農地への立入や聞き取り調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

## 相続等による農地取得の届出

相続等により農地の権利を取得した方は、農地の所在する農業委員会に届出が必要です。詳しく

はお問合せください。

## 農地台帳調査にご協力をお願いします

農地の貸借や証明書の発行に必要な情報の更新のため、毎年、農地台帳調査を行っています。11月上旬に調査票が届いた方は、現在の状況をご記入のうえ、指定の期日までに返送をお願いします。

## 農地の管理は所有者又は借地人です

市内には雑草や雑木が繁茂している農地があり、周辺の農地や住民の方々に大変ご迷惑がかかります。除草など農地の適正な管理をお願いします。

なお、除草が困難な場合は、除草作業等を行う団体もありますので参考にしてください。

公益財団法人  
甲府市シルバー人材センター  
甲府市相生2-17-1  
☎(241)5616

### 甲府市がヤマトダマ実証事業を行いました

#### ヤマトダマとは

バイオマス燃料の生産に特化した新品種の植物です。高い収穫効率と速い生育スピードが特徴で、生産効率は杉や桧に比べ39倍と言われています。成長した幹や枝などの木質部分は、乾燥させることでバイオマス燃料として利用でき、化石燃料の代替品として活用することができます。

#### 実証内容

南北に長く、盆地・山間部を有する甲府市の地理的特徴を踏まえ、市内8か所の遊休農地等で実証を行いました。8か月間の実証期間では、最も生育の良好だった場所で5m程度成長し、日照条件によって成長速度や幹の太さに違いが見られました。



ヤマトダマの種

#### 実証結果

ヤマトダマの成長には1日を通して日照時間が確保できる場所が適しており、日照時間等が全国トップレベルである甲府市は、ヤマトダマの生育において適地であるということが明らかになりました。

#### 甲府市の取組

昨年度の実証を踏まえ、今年度は収穫したヤマトダマの活用に向けた実証を進めています。甲府市では、こうした取組を通じて「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。

問 甲府市環境政策課  
☎(241)4363



成長したヤマトダマ



甲府市ホームページ

### 堰板や水門の適正管理にご協力をお願いします

「水路から水があふれて道路や周辺土地が浸水している」といった通報を受けることがあります。これは、突然の大雨の影響によるもので、その多くが農業用水路で発生しています。

これから、稲作の季節を迎えます。水田に取水するための堰板や水路に設置している水門の適切な管理をお願いします。

また、ため池の管理についても、出水期を前に再度点検をしていただき、災害を未然に防ぎましょう。

なお、増水した用排水路は、非常に危険ですので、決して近づかないようにしてください。

問 甲府市農政課  
☎(299)4836

### 収入保険の保険料等への補助金について

本市では、自然災害のほか、

けが、病気による作業不能価格の低下など農業者の努力では避けられない要因で収入が減少した場合に支援を行うため、収入保険に加入している農家に対し、保険料及び事務費の10分の1を補助します。

問 農政課

☎(299)4833

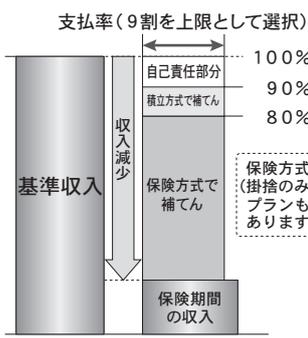
### 収入保険の仕組み

『加入条件』

青色申告をしている農業者

『おすすめポイント』

- ① 基準収入の8割以上の収入が確保される。
- ② 保険料等に国の手厚い補助がある。
- ③ 大きな損害発生時には無利子の「つなぎ融資」が受けられる。



問 NOSAー山梨中央支所  
☎0553(22)5056

### 甲府市「地域計画」を策定しました

甲府市「地域計画」を本年3月に策定し、市ホームページにおいて公開しました。「地域計画」とは、概ね10年後の地域農業のあり方や将来の農地利用の姿を明確にした計画です。地域農業の担い手に農業を集約し、農作業の効率化や遊休農地の発生防止を目指すための農地の利用状況を見える化した「目標地図」と合わせて策定しました。策定後においても、関係者と随時調整しながら、必要に応じて見直しを行い、更新いたします。

なお、計画にある「地域内の農業を担うもの一覧」の氏名が記載されたものは、市農政課又は農業委員会事務局の窓口（本庁舎8階）で縦覧ができます。

問 甲府市農政課

☎(299)4833

問 農業委員会事務局

☎(237)5892

### 株式会社InoFaが プロファーマーとして認定されました

令和7年3月に、株式会社InoFa(善光寺)がプロファーマーとして認定されました。

株式会社InoFaは、甲運地区で、ブドウやイチゴなど高品質な農作物を大規模に栽培し、市場において高く評価されています。また、遊休農地の活用や研修生の受け入れ、後継者の育成等に取り組み、地域農業の発展に貢献しています。



株式会社InoFaのメンバー  
左から、依田強さん・井上実さん・依田りつこさん

### プロファーマー認定制度

「甲府市農業振興計画」の基本方針に掲げる「『稼ぐ農業』の育成と拡大」のため、本市農業を牽引する農業者をプロファーマーとして認定し、施策を集中させることで、本市農業全体の引き上げを図ります。

### 事業・イベント情報のほか、 営農に役立つ気象や病害虫に関する情報も発信しています！



農業センターでは、X(旧Twitter)やInstagramにおいて、本市農業に関する情報等を発信しておりますので、左のQRコードを読み込んでアカウントのフォローをよろしくお願います。

農業センター公式SNS



甲府市右左口町の七覚地区の住民が参加する「七覚だけのこ組合」では、耕作放棄地を活用しタケノコ栽培を行い、地区内の売店で販売しました。売上は地域活動に活用されています。地域住民が参加する協議会がタケノコ栽培を視察したことが結成のきっかけとなり、現在14人が所属しています。昨年、売店を試験的にオープンし成功を収め、今年も販売を行いました。来年も販売を予定しており、祭りや加工品販売も検討しています。組合は地域づくりの拠点として売店を展開し、地域の活性化を目指しています。

地域のかわらばん

全国農業新聞の  
購読者を  
募集しています！

農業者の経営や暮らしに役立つ情報の提供をしています。月4回、毎週金曜日発行、購読料月額700円。  
山梨県農業会議  
☎(228)6811

### 編集後記

今年の夏は、6月から熱中症警戒アラートが頻発し、仕事と体調管理の両立に苦労する季節となりました。また、本年4月より農地の貸借方法が農地中間管理事業に一本化され、運用が本格化しています。

これからも農業委員会だよりでは、地域の農業振興や絆づくりに役立つ情報をお届けしてまいります。

編集委員 米山 夫佐子

